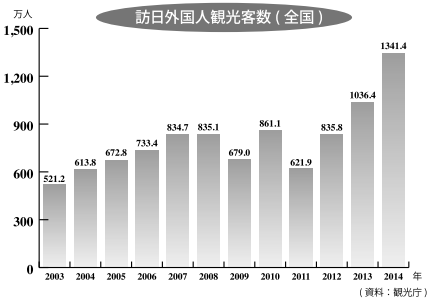


インバウンド情報WEBサイト 「北海道インバウンド・インフォ」 開設1周年

一つのサイトで閲覧できるようになりました。



北海道を訪れる外国人はこの10年間でおよそ3倍に増加しました。外国人観光客の増加は、経済的な意味からも北海道観光を底上げする大きな力になるものと期待されています。しかし、実際の受入れにあたっては、言語の問題やマナーの問題など、解決すべき課題は少なくありません。そこで、その悩みを解消する一助にしようというのがこのWEBサイト「北海道インバウンド・インフォ」です。

「北海道インバウンド・インフォ」は、各機関・団体で提供・発信しているインバウンド情報をWEB上で一元化して公開しているものです。

それらの情報は、プロモーションおよび受入れ環境整備の両面から旅行業務やホテル経営、観光施設運営に携わる人たちの日常業務の役に立つように編集されています。また、インバウンドに関する各種便利情報もたくさん掲載していますので、ぜひご活用ください。

すぐに活用できるB to B
(インバウンド事業者向け)
情報が満載

インバウンドに関する主要データ、
参考資料を一つのサイトに収納、
しかもリアルタイムに更新

道内の多言語観光パンフレット、
各種調査報告書を収録、
ダウンロードも可能

この
WEBサイトの
特徴

インバウンド情報 WEB サイト **北海道インバウンド・インフォ**
<http://inbound-jp.info/> SEARCH GO



外国人観光客の受入れに関して、いま以下のような問題の解決が求められています。
北海道インバウンド・インフォはその解決のヒントをみなさんに提供します。

主な課題	対応策等
レンタカーの安全確保	わかりやすい標識検討、冬期安全運行等に対する渡航前の周知の徹底
ホテルがとれない(特に道央圏)	各種取り組みにより広域分散化と標準化を図る
マナーの問題(トイレの使用、大きな話し声)	渡航前周知の強化、水際での粘り強い啓発
外国語対応、人材育成	在住外国人の活用、海外で取得した各種資格を国内で活用する仕組みを検討
不慮のケガ・病气等緊急時の対応	モデル事業を参考に地域ごとに医療機関の連携等検討
Wi-Fi環境が整備されていない	地域実績に沿った効果的な整備、認証手続きの簡素化検討
二次交通の確保、充実	交通結節点のあり方調査を活用し、問題解決をすすめる
札幌中心部等バスの駐停車場所不足	停車時間の短縮、ルール化、夜間待機場所の確保を検討
ドライバーの不足	観光貸切ドライバーの確保に向けた取り組み等、関係者間で検討
乗り継ぎ利便性の向上	都市間バス等の周遊バスの導入を検討
情報発信	多言語表記の充実、地域内における統一した分かりやすい情報発信の推進

各課題解決に向けて、
短期的、中長期的に
対応方針を検討

訪日外国人旅行者数2000万人の受入に向けた北海道ブロック連絡会報告資料より

インバウンドに関する質問がございましたら、ご遠慮なくお問合せください

お問合せ

一般財団法人北海道開発協会 開発調査総合研究所
〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目 セントラル札幌北ビル
TEL 011-709-5213 中村・浜本